

これからの「香南」の話をしよう

第6期実施状況報告と第7期実施計画（3年計画）が策定されました

昨年度、策定された「第1次香南市振興計画」の後期基本計画。

その計画を具体的な事業で示し、内容を明らかにする3年計画の「実施状況報告」と「実施計画」がこのほど、議会へ報告されました。

実施状況報告は後期基本計画の主な施策に沿って「まちづくり指標」を示し、平成24年度の取り組みや課題、進捗状況を掲載。成果を重視した効率的な取り組みの確認や、継続への検証の指針として活用していきます。実施計画は主要な事業について掲載しています。

次年度の業務へ反映

第6期実施状況報告は、実施計画を見直し、来年度の事業を効率よく進めるよう、職員が集まり、年一回業務チェックを行ってきました。PDCAサイクルをまわして、1年の業務内容を反省し、次年度の業務計画へと反映させていきます。

「概ね達成・「遅れ」の3段階で表すなど、平成24年度の取組内容を分かりやすく表現しています。

明るい未来をめざして

第7期実施計画の重点施策は、地域防災のさらなる充実として「安心安全で快適なまちづくり」のために、県内最大数の建設を予定している津波避難タワーや、



ワラを編むように、たくさんの思いをつないで長く、強い香南市を創造する。



1 振興計画はどうして必要？

「香南市振興計画」は香南市の長期的な展望に基づいて、まちづくりの将来目標を示すとともに、市政を総合的、計画的に運営するために各行政分野における計画や、事業の指針を明らかにするもので、市政運営の最も基本となる計画です。

これらの計画は市長が委嘱した審議会委員が、計画内容を審議し、決定しています。国や県の補助金を受けるときもこの振興計画に記載されていることが重要視されており、香南市の未来を拓く、大切な計画です。

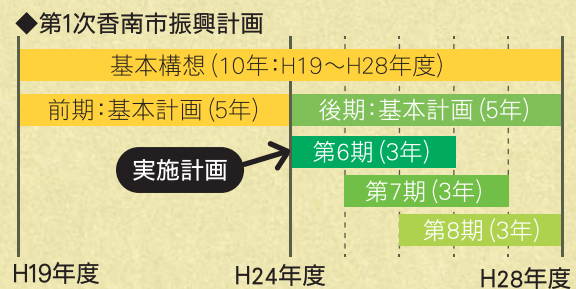
2 実施計画ってなに？

実施計画は、市の将来像である「美しい水と緑と風に包まれ元気で豊かに光るまち」を実現するために、財政計画との整合性を図りながら「第1次香南市振興計画」に定められた施策を、計画的、効率的に進めるために具体的な主要施策を示した3年間の計画です。

今年度は、平成24年度から26年度までの「第6期実施状況報告」と、平成25年度から3年間の「第7期実施計画」を議会に報告しました。この1年間は「第7期」を中心に計画行政を行っていきます。

▼まちづくり指標を掲載

それぞれの施策に対して「まちづくり指標」を設定し、「現状の数値(平成22年度)」と「目指す目標値(平成28年度)」を計画の取り組みとして掲載しています。これにより、取り組み成果の確認や継続への検証を行うことができます。



3 どうして計画を見ることが出来るの？

今回策定された「第6期実施状況報告」と「第7期実施計画」は、次の①～③の場所で見ることが出来ます。
※ホームページでは個別計画の内容も見られるようになっていきます

①香南市のホームページ



ここをクリック

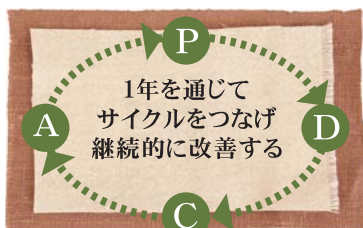
②企画課・各支所の窓口で閲覧

③香我美図書館・野市図書館 夜須図書室での閲覧

ぜひ、最寄りの場所でも確認してください♪

PDCAサイクルとは？

事業活動における生産管理や品質管理など、業務を円滑に進める手法の一つで、この4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善していきます。



- P**lan【実施計画をつくる】
…従来の実績や将来の予測などをもとにして計画を作成。
- D**o【業務を行う】
…計画に沿って業務を行う。
- C**heck
【年1回集まって、計画確認】
…業務内容が計画に沿っているかどうかを確認する。
- A**ction
【計画を見直し、改善する】
…実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする。

津波避難道等の整備を行います。

「豊かな心を育むひとづくり」として、平成26年の供用開始に向け統合給食センターの建設。「自律した協働のまちづくり」では、まちづくり協議会や自治会の設立および活動支援の推進として、地域活性化総合補助金の交付を行うていきます。また、香我美町西川地区に開設した集落活動センターの支援も実施

します。

香南市の新たなまちづくり構想として、新庁舎建設周辺土地利用計画、産業振興計画、高台移転構想など重点となる施策を検討し、香南市全体のまちづくり方針を総合的・体系的に示していくグランドデザイン策定を3年計画で行う予定です。(関連記事28ページ)

◆問い合わせ：企画課 57-8507